荒船山塊・相沢奥壁

【日　時】2009年2月8日　　【メンバー】L田邉・小暮・高橋（写真・記）

昨日に引き続き今日は「相沢」へ。早朝、部落から仰ぎ見る荒船山の中腹に懸かる氷瀑は白く輝き、期待に胸が弾む。登山口で準備中の松本の山岳会の若手5人と前後してアプローチする。雪が全く見られない分、楽ではあるがガレが浮いていて落石に神経を使う。今回は1時間15分の短時間で取り付きに。「奥壁」は矢張り、先日の雨で小さくなっているのか？或いは例年より沁み出しが少ないせいか？は不明だが、いずれにしても例年に比べて幅が狭い。しかし却ってその分高さを感じる。氷は硬く締まっていて良いコンディションと言っていいだろう。

見た目にも困難な左ルートに取り付いた小暮君。右のヤヤ傾斜の緩いルートを松本の若手Pに譲る。
下部の10mも氷は硬く、力を使わせられた・・・。

核心部での奮闘。冷静に乗り切る。ブラボー。

TRで遊ぶ？田邉君